



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL <https://toho-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長 (氏名) 川崎 正一 (TEL) 03-5550-3735

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	14,837	13.2	873	56.1	800	56.5	544	56.2
2026年3月期第1四半期	13,102	△1.0	559	36.2	511	13.8	348	△32.5

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 1,391百万円(— %) 2026年3月期第1四半期 △34百万円(— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	25.91	—
2026年3月期第1四半期	16.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	73,048	25,048	34.2
2026年3月期	70,824	24,119	33.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 24,957百万円 2026年3月期 24,031百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想については、本日(2026年8月5日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	15.4	1,400	57.1	1,150	51.7	1,250	139.0	59.44
通期	60,000	11.9	2,500	19.7	2,000	3.5	1,850	21.1	87.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2026年8月5日)公表いたしました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年3月期1Q	21,350,000株	2026年3月期	21,350,000株
2027年3月期1Q	322,015株	2026年3月期	322,015株
2027年3月期1Q	21,027,985株	2026年3月期1Q	21,027,985株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調が継続しました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格の高騰や原材料調達リスクの高まり、人件費や物価の上昇が企業活動の重石となっております。また、物価上昇による消費者マインドの冷え込み、金利の上昇、為替相場の変動などによる景気下振れリスクも存在しており、先行き不透明な状況が続いております。

化学業界におきましては、半導体市況の改善を背景に、半導体市場向け製品の需要は堅調に推移しております。一方、石油化学製品を中心に、中国の内需を上回る生産とそれに伴う輸出拡大の影響が続いております。また、中東情勢の緊迫化を背景とした原材料価格の急騰や原材料調達リスクに直面し、そのマイナス影響を回避するための機動的な対応が求められる厳しい事業環境となりました。

このような経営環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、原材料価格の上昇に対応し価格転嫁を進めたことによる売価の上昇や、電子情報産業用の微細加工用樹脂の販売増加等により、前年同期比1,735百万円、13.2%増収の14,837百万円となりました。

損益面につきましては、価格転嫁を迅速に進めた結果、売上高総利益率は前年同期と同水準を維持することができ、増収による収益効果により営業利益は前年同期比313百万円増益の873百万円となりました。経常利益は前年同期比288百万円増益の800百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比195百万円増益の544百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(界面活性剤)

香粧原料は、一般洗浄剤の大口ユーザー向け販売がやや回復したことやヘアケア用基剤の販売増加により増収となりました。プラスチック用添加剤は、帯電防止剤の販売が減少し減収となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート用関連薬剤等の販売が国内でやや回復し増収となりました。農薬助剤は、国内向けの販売が伸長し増収となりました。繊維助剤は、国内外ともに販売が増加し増収となりました。紙パルプ用薬剤は、サイズ剤等の販売が減少し減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比740百万円、11.9%増収の6,951百万円となり、セグメント利益は、前年同期比171百万円増益の353百万円となりました。

(樹脂)

石油樹脂は、道路舗装関連等の販売が伸長し増収となりました。合成樹脂は、断熱フォーム用ウレタン樹脂等の販売が伸長し増収となりました。樹脂エマルションは、フローアポリッシュ用等の販売がやや回復し増収となりました。アクリレートは、海外では増収となったものの国内での販売が減少し減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比112百万円、10.1%増収の1,233百万円となり、セグメント利益は、61百万円（前年同期は7百万円の損失）となりました。

(化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、国内外ともに販売が減少し減収となりました。石油添加剤は、国内外ともに販売が回復し増収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油剤や吸塵剤等の販売が伸長し増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比149百万円、9.2%増収の1,772百万円となり、セグメント利益は、前年同期比64百万円増益の115百万円となりました。

(スペシャリティーケミカル)

溶剤は、ブレーキ液基剤等で販売数量は減少したものの、製品売価の上昇により増収となりました。電子情報産業用の微細加工用樹脂は、販売が計画どおり伸長し増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比823百万円、20.4%増収の4,858百万円となりました。セグメント利益は、電子情報産業用の微細加工用樹脂が増益となった一方、溶剤が一部の製品での価格転嫁の遅れ等により減益となったことから、前年同期並の250百万円となりました。

なお、上記の各セグメント利益又は損失の前年同期比の数値は、後記P. 9（セグメント情報等の注記）「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」の表における「報告セグメント」の比較情報です。

その他に、各セグメントに帰属しない調整額(棚卸資産の調整額等)が95百万円(前年同期は82百万円)あります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、73,048百万円と前期末比2,224百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が1,054百万円増加の36,945百万円、固定資産が1,170百万円増加の36,103百万円です。

流動資産の主な増減要因は、受取手形及び売掛金が534百万円の増加、電子記録債権が180百万円の増加、棚卸資産が489百万円の増加、未収入金の減少を主因とするその他(流動資産)が214百万円の減少です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が818百万円の増加、投資その他の資産が331百万円の増加です。

負債合計は、48,000百万円と前期末比1,295百万円の増加となりました。主な増減要因は、買掛金が1,464百万円の増加、短期借入金が990百万円の増加、未払法人税等が164百万円の減少、賞与引当金が389百万円の減少、設備関係電子記録債務、未払金及び預り金の増加を主因とするその他(流動負債)が753百万円の増加、長期借入金が1,451百万円の減少です。

純資産は、25,048百万円と前期末比929百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益と配当金の支払いとの差額により82百万円の増加、その他の包括利益累計額が、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加により843百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は34.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

5月13日の決算発表時におきましては、ホルムズ海峡の事実上の封鎖の影響により、石油化学業界は、原材料の調達難と価格急騰に直面し、原材料不足による生産量の減少と原材料高による採算悪化との両面で収益へのマイナス影響が懸念される極めて先行きが不透明な環境にありました。そのため、2027年3月期の業績予想につきましては、合理的な算定が困難であったことから、未定とさせていただきました。

現時点においても不透明感が払拭された状況ではないものの、第1四半期決算を踏まえ、また、現時点で入手可能な情報に基づき連結業績予想を算定し、公表することといたしました。

売上高につきましては、原材料価格の上昇に伴う売価の上昇や電子情報産業用の微細加工用樹脂の販売増加等により増収を予想しております。

収益面につきましては、原材料高による採算悪化を迅速な価格転嫁によって抑え、増収による収益効果により営業利益・経常利益は前期比増益を予想しております。また、後記P. 10（重要な後発事象の注記）に記載のとおり、投資有価証券売却益の計上もあり、親会社株主に帰属する当期純利益も前期比増益を予想しております。

以上により、2027年3月期の連結業績見通しは、売上高60,000百万円、営業利益2,500百万円、経常利益2,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,850百万円と予想しております。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

利益配分に関する当社の基本的な考え方は、配当の充実と内部留保の重視の両者をバランスさせていくことにあります。すなわち、収益力の強化を図りながら、株主各位に収益に対応した配当を充実させる一方、内部留保は、今後の事業発展と将来にわたる安定した収益確保のために必要な研究開発費や設備投資に備え、併せて財務体質の強化につなげていこうとするものであります。

2027年3月期の配当につきましても、上記基本方針に基づき実施する予定です。2027年3月期の業績予想等を勘案し、2027年3月期の配当は、2026年3月期の1株当たり22円の配当から3円増配し、1株当たり25円の配当を予定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,344	5,409
受取手形及び売掛金	11,686	12,220
電子記録債権	1,478	1,658
棚卸資産	16,464	16,954
その他	919	704
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	35,891	36,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,442	14,080
機械装置及び運搬具（純額）	4,616	6,991
土地	3,145	3,145
建設仮勘定	3,288	1,173
その他（純額）	2,063	1,983
有形固定資産合計	26,556	27,375
無形固定資産	1,066	1,086
投資その他の資産	7,310	7,641
固定資産合計	34,933	36,103
資産合計	70,824	73,048

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,646	7,111
電子記録債務	2,478	2,553
短期借入金	10,913	11,904
未払法人税等	266	102
契約負債	4	37
賞与引当金	648	258
その他	3,431	4,185
流動負債合計	23,390	26,152
固定負債		
社債	900	900
長期借入金	15,257	13,806
退職給付に係る負債	5,816	5,862
資産除去債務	79	79
その他	1,261	1,198
固定負債合計	23,314	21,847
負債合計	46,704	48,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	14,496	14,578
自己株式	△163	△163
株主資本合計	16,984	17,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,626	4,077
為替換算調整勘定	3,250	3,642
退職給付に係る調整累計額	169	170
その他の包括利益累計額合計	7,046	7,889
非支配株主持分	87	91
純資産合計	24,119	25,048
負債純資産合計	70,824	73,048

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	13,102	14,837
売上原価	10,966	12,347
売上総利益	2,135	2,489
販売費及び一般管理費	1,575	1,616
営業利益	559	873
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	62	80
物品売却益	13	8
その他	4	14
営業外収益合計	83	110
営業外費用		
支払利息	99	130
為替差損	11	22
その他	20	30
営業外費用合計	132	183
経常利益	511	800
特別利益		
固定資産売却益	-	0
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産廃棄損	14	22
特別損失合計	14	22
税金等調整前四半期純利益	497	777
法人税等	147	232
四半期純利益	349	545
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	348	544

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	349	545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86	450
為替換算調整勘定	△470	394
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	△383	846
四半期包括利益	△34	1,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△31	1,388
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
日本	5,253	878	789	3,947	10,868	18	10,886	—	10,886
アジア	819	242	588	68	1,718	92	1,811	—	1,811
その他	138	—	245	19	402	0	403	—	403
顧客との契約から生じる収益	6,211	1,121	1,623	4,034	12,990	111	13,102	—	13,102
外部顧客への売上高	6,211	1,121	1,623	4,034	12,990	111	13,102	—	13,102
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	30	30	△30	—
計	6,211	1,121	1,623	4,034	12,990	142	13,132	△30	13,102
セグメント利益又は損失(△)	181	△7	51	249	474	2	477	82	559

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額82百万円には、棚卸資産の調整額62百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシャ リティー ケミカル	計				
売上高									
日本	5,901	949	879	4,772	12,502	16	12,519	—	12,519
アジア	900	281	632	57	1,871	3	1,875	—	1,875
その他	149	3	260	28	442	0	442	—	442
顧客との契約から生じる収益	6,951	1,233	1,772	4,858	14,816	20	14,837	—	14,837
外部顧客への売上高	6,951	1,233	1,772	4,858	14,816	20	14,837	—	14,837
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	26	26	△26	—
計	6,951	1,233	1,772	4,858	14,816	46	14,863	△26	14,837
セグメント利益又は損失(△)	353	61	115	250	780	△2	777	95	873

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額95百万円には、棚卸資産の調整額100百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	690百万円	712百万円

(重要な後発事象の注記)

(投資有価証券の売却)

当社は、2026年6月25日付の取締役会において、当社が保有する投資有価証券を売却することを決議し、2026年7月に売却いたしました。これにより、2027年3月期第2四半期(中間期)連結会計期間において、投資有価証券売却益を特別利益に計上いたします。

1. 投資有価証券売却の理由

政策保有株式の縮減と資産の効率化を図るため。

2. 投資有価証券売却の内容

- | | |
|---------------|----------------|
| (1) 売却株式 | 当社保有の上場有価証券1銘柄 |
| (2) 売却日 | 2026年7月17日 |
| (3) 投資有価証券売却益 | 588百万円 |